

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人名古屋市立大学

## (2) 大学名

名古屋市立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒467-8501 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地  
〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地  
〒467-8603 愛知県名古屋市瑞穂区田辺通3丁目1番地  
(〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コオリ ケンジロウ) 郡 健二郎 (平成30年4月)		
学長	(コオリ ケンジロウ) 郡 健二郎 (平成30年4月)		
学部長	(ユカワ ヤスシ) 湯川 泰 (平成30年4月)		
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
総合生命理学部 総合生命理学科 学士(理学)	理学関係	年 4	人 41	年次 人 -	人 161	(変更前入学定員 40人) (変更前收容定員 160人) (変更年月 平成31年4月) (報告年度 平成30年度)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 40 ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 41 ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	人 - ( - ) [ - ]	1.02倍	1.02倍	
志願者数	165 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	208 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	92 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	120 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	46 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	58 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	40 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	43 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.04		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	40 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	43 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		37 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次			/		/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
4年次	/						/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
計			40 [ - ] ( - )		80 [ - ] ( - )				[ - ] [ - ] ( - )		- [ - ] ( - )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	40 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	80 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	進路変更(3名)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
合 計		3 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{80} = \boxed{3.75} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<総合生命理学部 総合生命理学科>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 特色 科目	社会人になるA	1前	2								1
	社会人になるB	1後	2								1
	現代社会と人と地域のつながり	1前	2								1
	名古屋市政を通して みる現代社会の 諸問題	1前	2								1
	ESDと地域の環 境	1後	2								1
	小計(5科目)	-		10							
現代 社会 の 諸 相	なぜ憲法が必要 なのか	1前	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	法学入門	1後	2								1
	経済学:経済学 の 考え方	1前	2			1		1			1
	経営学:企業活 動 の 諸 相	1後	2								1
	社会学A	1後	2								2
	社会学B	1後	2								1
	平和論	1後	2								4
	私たちの暮らし と 政治・行政・地方 自治	1前	2								1
	国際政治と社会	1前	2								1
小計(10科目)	-		20								13
文化 と 人 間	琉球・沖縄の歴 史・文化を識 る	1前	2			1					1
	囲碁に学ぶ	1後	2								1
	死の文化学	1後	2								1
	東ヨーロッパの 文 化と歴史	1後	2								1
	文化に見る歴史	1前	2			1					2
	欧州史の中の北 欧史	1後	2								1

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 特色 科目	社会人になるA	1前	2								1
	社会人になるB	1後	2								1
	現代社会と人と地域のつながり	1前	2								1
	名古屋市政を通して みる現代社会の 諸問題	1前	2								1
	ESDと地域の環 境	1後	2								1
	<b>まちづくり論</b>	<b>1前</b>	<b>1</b>								
小計(6科目)	-		<b>11</b>								<b>6</b>
現代 社会 の 諸 相	なぜ憲法が必要 なのか	1前	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	法学入門	1後	2								1
	経済学:経済学 の 考え方	1前	2			1		1			1
	経営学:企業活 動 の 諸 相	1後	2								1
	社会学A	1後	2								2
	社会学B	1後	2								1
	平和論	1後	2								<b>3</b>
	私たちの暮らし と 政治・行政・地方 自治	1前	2								1
	国際政治と社会	1前	2								<b>2</b>
	<b>人と法と医療</b>	<b>1前</b>	<b>2</b>								<b>2</b>
	<b>社会学C</b>	<b>1後</b>	<b>2</b>								<b>1</b>
	<b>社会環境論</b>	<b>1前</b>	<b>2</b>								<b>1</b>
	<b>フィールド研究から みるアジア</b>	<b>1前</b>	<b>2</b>								<b>5</b>
小計(14科目)	-		<b>28</b>								<b>20</b>
文化 と 人 間	琉球・沖縄の歴 史・文化を識 る	1前	2			1					1
	囲碁に学ぶ	1後	2								1
	死の文化学	1後	2								1
	東ヨーロッパの 文 化と歴史	1後	2								1
	文化に見る歴史	1前	2			1					2
	欧州史の中の北 欧史	1後	2								1

性の探求	アメリカ史入門	1前	2							1
	都市と地域構造の地理学	1前	2							1
	音楽と文化	1前	2							1
	自分とみんなで考える哲学	1前	2							1
	討論の中で問題を発見する哲学	1後	2							1
	応用倫理学－生命倫理の現在	1前	2							1

性の探求	アメリカ史入門	1前	2							1
	都市と地域構造の地理学	1前	2							1
	音楽と文化	1前	2							1
	自分とみんなで考える哲学	1前	2							1
	討論の中で問題を発見する哲学	1後	2							1
	応用倫理学－生命倫理の現在	1前	2							1

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
文化と人間性の探求	宗教学入門	1後		2							1
	心理学概論	1後		2							1
	心理学入門	1後		2							1
	現代教育の諸相	1前		2							2
	次世代育成と地域の課題	1後		2							2
	小計 (17科目)	-		34							
人間と自然	科学史	1後		2							1
	環境と社会・制度・政治・経済	1前		2							1
	小計 (2科目)	-		4							2
自然と数理解の探求	行動生態学	1前		2			1				
	植物とバイオテクノロジー	1前		2		1					
	バイオサイエンス入門	1後		2		1	1				
	小計 (3科目)	-		6		2	2				
英語	IS: Community	1前・後		1							1
	IS: Social Justice	1前・後		1							1
	IS: Life & Work	1前・後		1							1
	IS: Health & Well-being	1前・後		1							1
	IS: The Arts	1前・後		1							1
	AE: Make a Difference in Your Community	1前・後		2							1
	AE: Interact Internationally	1前・後		2							1
	AE: Improve Life Skills	1前・後		2							1
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	1前・後		2							1
	AE: Produce a Movie	1前・後		2							1
	CS: Presentation	1前・後		2							4
	CS: Grammar and Usage	1前・後		2							2
	EM: World News	1前・後		2							1
	EM: Popular Culture	1前・後		2							1
EM: Reading for Inspiration	1前・後		2							3	
EM: Online Articles and Videos	1前・後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
文化と人間性の探求	宗教学入門	1後		2							1
	心理学概論	1後		2							1
	心理学入門	1後		2							1
	現代教育の諸相	1前		2							2
	次世代育成と地域の課題	1後		2							2
	小計 (20科目)	-		40							
人間と自然	科学史	1後		2							1
	環境と社会・制度・政治・経済	1前		2							1
	行動生態学	1前		2			1				
小計 (3科目)	-		6			1				2	
自然と数理解の探求	植物とバイオテクノロジー	1前		2		1					
	バイオサイエンス入門	1後		2		2	1				
	小計 (2科目)	-		4		3	1				
英語	IS: Community	1前・後		1							1
	IS: Social Justice	1前・後		1							2
	IS: Life & Work	1前・後		1							1
	IS: Health & Well-being	1前・後		1							1
	IS: The Arts	1前・後		1							2
	AE: Make a Difference in Your Community	1前・後		2							1
	AE: Interact Internationally	1前・後		2							2
	AE: Improve Life Skills	1前・後		2							2
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	1前・後		2							1
	AE: Produce a Movie	1前・後		2							1
	CS: Presentation	1前・後		2							6
	CS: Grammar and Usage	1前・後		2							4
	EM: World News	1前・後		2							4
	EM: Popular Culture	1前・後		2							4
EM: Reading for Inspiration	1前・後		2							5	
EM: Online Articles and Videos	1前・後		2							5	

	小計(16科目)	-	27							11
その他の言語	ドイツ語初級1	1前	2							1
	ドイツ語初級2	1後	2							1
	フランス語初級1	1前	2							1
	フランス語初級2	1後	2							1

	<b>CS: TOEIC Preparation</b>	<b>1前 - 後</b>								<b>3</b>
	小計(17科目)	-	<b>29</b>							<b>28</b>
その他の言語	ドイツ語初級1	<b>1前 - 後</b>	2							<b>5</b>
	ドイツ語初級2	1後	2							<b>5</b>
	フランス語初級1	<b>1前 - 後</b>	2							<b>4</b>
	フランス語初級2	1後	2							<b>4</b>



【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
その他の言語	中国語初級1	1前	2								1
	中国語初級2	1後	2								1
	小計(6科目)		12								3
情報科目	情報処理基礎	1前	2			1					
	情報処理応用	1後	2			1					
	小計(2科目)	-	4			1					
健康・スポーツ科目	健康・スポーツ科学	1前	2		1		1				5
	健康・スポーツ実技	1後		1							1
	小計(2科目)	-	2	1	1		1				6
生物学	基礎生物学	1前	2		1						
	生物学	1後	2			1					
	小計(2科目)	-	4		1	1					
化学	化学基礎	1前	2			1					
	化学熱力学基礎	1前	2		1						
	有機化学	1後	2		1						
	小計(3科目)	-	6		2	1					
物理学	物理学基礎	1前	2		1						
	力学	1前	2			1					
	電磁気学	1後	2			1					
	波動・熱力学	1後	2			1					
	小計(4科目)	-	8		1	2					
数学	微分積分学	1前	2		1	1					
	線形代数学I	1前	2		1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
その他の言語	中国語初級1	1前・後	2								6
	中国語初級2	1後	2								5
	韓国語初級1	1前・後	2								2
	韓国語初級2	1後	2								2
	スペイン語初級1	1前・後	2								2
	スペイン語初級2	1後	2								2
	日本手話初級1	1前・後	2								2
	日本手話初級2	1後	2								1
	ポルトガル語入門	1前	2								1
	ロシア語入門	1前	2								1
	イタリア語入門	1後	2								1
アラビア語入門	1後	2								1	
小計(16科目)			32								25
情報科目	情報処理基礎	1前	2			1					
	情報処理応用	1後	2			1					
	小計(2科目)	-	4			1					
健康・スポーツ科目	健康・スポーツ科学	1前	2		1		1				4
	健康・スポーツ実技	1後		1							1
	小計(2科目)	-	2	1	1	1					5
生物学	基礎生物学	1前	2		1						
	生物学	1後	2			1					
	小計(2科目)	-	4		1	1					
化学	化学基礎	1前	2			1					
	化学熱力学基礎	1前	2		1						
	有機化学	1後	2		1						
	小計(3科目)	-	6		2	1					
物理学	物理学基礎	1前	2		1						
	力学	1前	2			1					
	電磁気学	1後	2			1					
	波動・熱力学	1後	2			1			1		
	小計(4科目)	-	8		1	2			1		
数学	微分積分学	1前・後	2		1	1					
	線形代数学I	1前	2		1	1					

・統計学	線形代数学II	1後	2	2						
	統計学B	1後	2	1						
	小計(4科目)	-	4	4	3	1				
自然科学実験	自然科学実験	1後	1		5	8				
	小計(1科目)	-	1		5	8				
専門基礎科目	総合理学概論A	1後	2		5	4	1			
	総合理学概論B	1後	2		5	6				
	総合理学実験入門	1前	1		1	2				
	生命科学実験	2前	2		3	2	1			
	物質科学実験	2前	2		2	4				
	生態学	2後	2			1				
	基礎生理学	2前	2		1					
	適応生理学	2前	2		1					1
	進化学 I	2前	2		1					
	生物統計学	2後	2							1
	生命情報学 I	2後	2		2					
	生化学	2前	2			1				

・統計学	線形代数学II	1後	2	2						
	統計学B	1後	2	1						
	小計(4科目)	-	4	4	3	1				
自然科学実験	自然科学実験	1後	1		7	7				
	小計(1科目)	-	1		7	7				
専門基礎科目	総合理学概論A	1後	2		6	5				
	総合理学概論B	1後	2		6	5				
	総合理学実験入門	1前	1		1	2				
	生命科学実験	2前	2		4	3				
	物質科学実験	2前	2		3	3				
	生態学	2後	2			1				
	基礎生理学	2前	2		1					
	適応生理学	2前	2							1
	進化学 I	2前	2		1					
	生物統計学	2後	2							1
	生命情報学 I	2後	2		2					
	生化学	2前	2			1				

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	分子生理学	2後		2				1				
	細胞生物学	2後		2		1						
	分子生物学 I	2後		2		1						
	物理化学	2前		2			1					
	有機元素化学	2後		2		1						
	物理数学	2前		2		1	1					
	地学概論	2後		2		1	1					
	幾何学	2前		2		1						
	代数学	2前		2		1						
	解析学	2前		2							1	
プログラミング I	2後		2			1		1				
情報処理発展	2前	2				1		1				
小計(24科目)			7	40		10	10	1	1			3
生命科学科目	生態測定学	3後		2			1					1
	応用生理学	3前		2		1		1				
	古生物学	3後		2								1
	進化学II	3前		2		1						
	生命情報学 II	3前		2								1
	植物生理学	3前		2		2						
	応用生物学	3前		2		1						
	発生生物学	3前		2								1
	生物機能化学	3前		2			2					
	分子遺伝学	3前		2			1					
	分子生物学 II	3後		2			1					
	クロマチン生物化学	3後		2								1
	総合神経科学	3後		2								2
	放射線生物学	3後		2								7
生命科学各論	4前		1								1	
小計(15科目)		-		29		4	4	1				15
物質科学科目	機器分析化学	3前		2		1	1					
	量子力学	2後		2			2					
	統計力学	3前		2			1					
	物性物理学	3前		2			2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	分子生理学	2後		2				1				
	細胞生物学	2後		2		1						
	分子生物学 I	2後		2		1						
	物理化学	2前		2			1					
	有機元素化学	2後		2		1						
	物理数学	2前		2		1	1					
	地学概論	2後		2		1	1					
	幾何学	2前		2		1						
	代数学	2前		2		1						
	解析学	2前		2								1
プログラミング I	2後		2			1		1				
情報処理発展	2前	2				1		1				
小計(24科目)			7	40		12	10		1			3
生命科学科目	生態測定学	3後		2			1					1
	応用生理学	3前		2		1	1					
	古生物学	3後		2								1
	進化学II	3前		2		1						
	生命情報学 II	3前		2								1
	植物生理学	3前		2		2						
	応用生物学	3前		2		1						
	発生生物学	3前		2								1
	生物機能化学	3前		2			2					
	分子遺伝学	3前		2			1	1				
	分子生物学 II	3後		2			1					
	クロマチン生物化学	3後		2								1
	総合神経科学	3後		2								2
	放射線生物学	3後		2								7
生命科学各論	4前		1								1	
小計(15科目)		-		29		5	5					15
物質科学科目	機器分析化学	3前		2		1	1					
	量子力学	2後		2			1	1				
	統計力学	3前		2			1					
	物性物理学	3前		2			1	1				

□	天体物理学	3後	2	1	1					
	物質科学各論	4前	1							1

□	天体物理学	3後	2	1	1					
	物質科学各論	4前	1							1

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物質科学科目	小計(6科目)			11		2	4				1
数理情報科学科目	幾何・代数学	2後		2		2					
	応用統計学	3前		2							1
	情報数学A	3前		2			1				
	情報数学B	3後		2		1					
	プログラミングⅡ	3前		2		1			1		
	数理情報科学各論	4前		1							1
	小計(6科目)	-		11		3	1		1		2
卒業研究関連科目	総合理学実習	3前	3			10	9	1			
	専門演習Ⅰ	3後	2			10	9	1			
	専門演習Ⅱ	4前	2			10	9	1			
	専門演習Ⅲ	4後	2			10	9	1			
	卒業研究Ⅰ	3後	4			10	9	1			
	卒業研究Ⅱ	4前	4			10	9	1			
	卒業研究Ⅲ	4後	4			10	9	1			
小計(7科目)	-	21			10	9	1				
外国語科目	自然科学英語	2後	2								1
	グローバルコミュニケーション	3前	2								1
	小計(2科目)		4								1
専門関連科目	総合博物学	2前		2		1					7
	教職概論2	2後			2						1
	教育学概論2	2前			2						1
	学校教育心理学	2後			2						1
	教育制度論	3後			2						2
	教育社会学	2前			2						1
	教育内容論1(教育課程論)	3前			2						1
	理科教育法1	3前			2						1
	理科教育法2	3後			2						1
	特別活動論	2後			2						1
	教育方法論2	3後			2						1
	生徒・進路指導論	2前			2						1
	教育相談	3後			2						1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物質科学科目	小計(6科目)			11		3	3				1
数理情報科学科目	幾何・代数学	2後		2		2					
	応用統計学	3前		2							1
	情報数学A	3前		2			1				
	情報数学B	3後		2		1					
	プログラミングⅡ	3前		2		1			1		
	数理情報科学各論	4前		1							1
	小計(6科目)	-		11		3	1		1		2
卒業研究関連科目	総合理学実習	3前	3			12	9				
	専門演習Ⅰ	3後	2			12	9				
	専門演習Ⅱ	4前	2			12	9				
	専門演習Ⅲ	4後	2			12	9				
	卒業研究Ⅰ	3後	4			12	9				
	卒業研究Ⅱ	4前	4			12	9				
	卒業研究Ⅲ	4後	4			12	9				
小計(7科目)	-	21			12	9					
外国語科目	自然科学英語	2後	2								1
	グローバルコミュニケーション	3前	2								1
	小計(2科目)		4								1
専門関連科目	総合博物学	2前		2		1					7
	教職概論2	2後			2						1
	教育学概論2	2前			2						1
	学校教育心理学	2後			2						3
	教育制度論	3後			2						2
	教育社会学	2前			2						2
	教育内容論1(教育課程論)	3前			2						1
	理科教育法1	3前			2						1
	理科教育法2	3後			2						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2後			2						1
	教育方法論2	3後			2						1
	生徒・進路指導論	2前			2			3			1
	教育相談	3後			2						1

高等学校教育実習	4通		3							1
教職実践演習	4後		2	1						1
小計(15科目)			2	29	2					17

合計(152科目)	-	47	224	30	10	10	1	1	0	89
-----------	---	----	-----	----	----	----	---	---	---	----

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】・以下の(1)、(2)の要件を満たし124単位以上を修得すること。  
(1) 教養教育科目：共通科目から24単位以上(「大学特色科目」から2単位、「現代社会の諸相」及び「文化と人間性の探求」から4単位を含めて一般教養科目全体から8単位以上、外国語科目において「英語」から6単位以上、「その他の言語」から4単位以上、「情報科目」4単位、「健康・スポーツ科目」から2単位以上を含む)、基礎科目から「基礎生物学」及び「生物学」並びに「自然科学実験」を含めて21単位以上を修得すること。  
(2) 専門教育科目：必修科目32単位、選択科目47単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限：48単位(年間))  
【進級要件】・2年次終了時において、以下の[1]～[4]の要件の一つでも満たしていない者は3年次に進級できない。  
[1] 教養教育科目における修得必要単位45単位の全てを修得していること。  
[2] 「総合理学概論A」2単位及び「総合理学概論B」2単位並びに「総合理学実験入門」1単位を修得していること。  
[3] 「生命科学実験」2単位及び「物質科学実験」2単位から2単位以上を修得していること。  
[4] [2]、[3]を含めて専門教育科目から25単位以上を修得していること。  
・3年次終了時において、「専門演習Ⅰ」2単位及び「卒業研究Ⅰ」4単位を合わせて6単位を修得していない者は、4年次に進級することができない。

高等学校教育実習	4通		3							1
教職実践演習	4後		2	1						1
特別支援教育2	2後		2							1
小計(16科目)			2	32	2					20

合計(172科目)	-	47	257	33	12	10	0	1	0	137
-----------	---	----	-----	----	----	----	---	---	---	-----

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】・以下の(1)、(2)の要件を満たし124単位以上を修得すること。  
(1) 教養教育科目：共通科目から24単位以上(「大学特色科目」から2単位、「現代社会の諸相」及び「文化と人間性の探求」から4単位を含めて一般教養科目全体から8単位以上、外国語科目において「英語」から6単位以上、「その他の言語」から4単位以上、「情報科目」4単位、「健康・スポーツ科目」から2単位以上を含む)、基礎科目から「基礎生物学」及び「生物学」並びに「自然科学実験」を含めて21単位以上を修得すること。  
(2) 専門教育科目：必修科目32単位、選択科目47単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限：48単位(年間))  
【進級要件】・2年次終了時において、以下の[1]～[4]の要件の一つでも満たしていない者は3年次に進級できない。  
[1] 教養教育科目における修得必要単位45単位の全てを修得していること。  
[2] 「総合理学概論A」2単位及び「総合理学概論B」2単位並びに「総合理学実験入門」1単位を修得していること。  
[3] 「生命科学実験」2単位及び「物質科学実験」2単位から2単位以上を修得していること。  
[4] [2]、[3]を含めて専門教育科目から25単位以上を修得していること。  
・3年次終了時において、「専門演習Ⅰ」2単位及び「卒業研究Ⅰ」4単位を合わせて6単位を修得していない者は、4年次に進級することができない。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学特色科目	社会人になるA	1前		2							1
	社会人になるB	1後		2							1
	現代社会と人と地域のつながり	1前		2							1
	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題	1前		2							1
	ESDと地域の環境	1後		2							1
	小計(5科目)	-									
現代社会の諸相	なぜ憲法が必要なのか	1前		2							1
	日本国憲法	1前		2							1
	法学入門	1後		2							1
	経済学:経済学の考え方	1前		2							1
	経営学:企業活動の諸相	1後		2							1
	社会学A	1後		2							2
	社会学B	1後		2							1
	平和論	1後		2							3
	私たちの暮らしと政治・行政・地方自治	1前		2							1
	国際政治と社会	1前		2							2
小計(10科目)	-		30								12
文化と人間性の探求	琉球・沖縄の歴史・文化を識る	1前		2							1
	囲碁に学ぶ	1後		2							1
	死の文化学	1後		2							1
	東ヨーロッパの文化と歴史	1後		2							1
	文化に見る歴史	1前		2							2
	欧州史の中の北歐史	1後		2							1
	アメリカ史入門	1前		2							1
	都市と地域構造の地理学	1前		2							1
	音楽と文化	1前		2							1
	自分とみんなで考える哲学	1前		2							1
	討論の中で問題を発見する哲学	1後		2							1
	応用倫理学ー生命倫理の現在	1前		2							1
	宗教学入門	1前		2							1
	心理学概論	1後		2							1
	心理学入門	1後		2							1
現代教育の諸相	1前		2							2	
次世代育成と地域の課題	1後		2							2	
小計(17科目)	-		34								20

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間と自然	科学史	1後		2								1
	環境と社会・制度・政治・経済	1前		2								1
	行動生態学	1前		2			1					
	小計(3科目)	-		6			1					2
自然と数理の探求	植物とバイオテクノロジー	1前		2		1						
	バイオサイエンス入門	1後		2		1	1					
	小計(2科目)	-		4		2	1					
英語	IS: Community	1前・後		1								1
	IS: Social Justice	1前・後		1								2
	IS: Life & Work	1前・後		1								1
	IS: Health & Well-being	1前・後		1								1
	IS: The Arts	1前・後		1								2
	AE: Make a Difference in Your Community	1前・後		2								1
	AE: Interact Internationally	1前・後		2								1
	AE: Improve Life Skills	1前・後		2								2
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	1前・後		2								1
	AE: Produce a Movie	1前・後		2								2
	CS: Presentation	1前・後		2								6
	CS: Grammar and Usage	1前・後		2								3
	EM: World News	1前・後		2								4
	EM: Popular Culture	1前・後		2								5
	EM: Reading for Inspiration	1前・後		2								5
	EM: Online Articles and Videos	1前・後		2								5
小計(16科目)	-		27									27
その他の言語	ドイツ語初級1	1前		2								1
	ドイツ語初級2	1後		2								1
	フランス語初級1	1前		2								1
	フランス語初級2	1後		2								1
	中国語初級1	1前		2								1
	中国語初級2	1後		2								1



	小計(6科目)	-	12								3
情報科目	情報処理基礎	1前	2				1				
	情報処理応用	1後	2				1				
	小計(2科目)	-	4				1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
健康・スポーツ科目	健康・スポーツ科学	1前	2			1		1				4
	健康・スポーツ実技	1後			1							1
	小計(2科目)	-	2		1	1		1				5
生物学	基礎生物学	1前	2			1						
	生物学	1後	2				1					
	小計(2科目)	-	4			1	1					
化学	化学基礎	1前		2			1					
	化学熱力学基礎	1前		2		1						
	有機化学	1後		2		1						
	小計(3科目)	-		6		2	1					
物理学	物理学基礎	1前		2		1						
	力学	1前		2			1					
	電磁気学	1後		2			1					
	波動・熱力学	1後		2			1					
	小計(4科目)	-		8		1	2					
数学・統計学	微分積分学	1前	2			1	1					
	線形代数学I	1前	2			1	1					
	線形代数学II	1後		2		2						
	統計学B	1後		2		1						
	小計(4科目)	-	4	4		3	1					
自然科学実験	自然科学実験	1後	1			5	8					
	小計(1科目)	-	1			5	8					
専	総合理学概論A	1後	2			5	4	1				
	総合理学概論B	1後	2			5	6					
	総合理学実験入門	1前	1			1	2					
	生命科学実験	2前		2		3	2	1				
	物質科学実験	2前		2		2	4					

門 基 礎 科 目	生態学	2後	2		1				
	基礎生理学	2前	2	1					
	適応生理学	2前	2						1
	進化学 I	2前	2	1					
	生物統計学	2後	2						1
	生命情報学 I	2後	2	2					
	生化学	2前	2		1				
	分子生理学	2後	2				1		

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 数	助 手		
専 門 基 礎 科 目	細胞生物学	2後	2			1						
	分子生物学 I	2後	2			1						
	物理化学	2前	2				1					
	有機元素化学	2後	2			1						
	物理数学	2前	2			1	1					
	地学概論	2後	2			1	1					
	幾何学	2前	2			1						
	代数学	2前	2			1						
	解析学	2前	2									1
	プログラミング I	2後	2				1		1			
	情報処理発展	2前	2				1		1			
	小計(24科目)		7	40		12	9	1	1			3
生 命 科 学 科 目	生態測定学	3後	2			1						1
	応用生理学	3前	2			1		1				
	古生物学	3後	2									1
	進化学II	3前	2			1						
	生命情報学 II	3前	2									1
	植物生理学	3前	2			2						
	応用生物学	3前	2			1						
	発生生物学	3前	2									1
	生物機能化学	3前	2				2					
	分子遺伝学	3前	2				1					
	分子生物学 II	3後	2				1					
	クロマチン生物化学	3後	2									1
	総合神経科学	3後	2									2
放射線生物学	3後	2									7	

	生命科学各論	4前	1							1
	小計(15科目)	-	29		5	4	1			15
物質科学科目	機器分析化学	3前	2		1	1				
	量子力学	2後	2			2				
	統計力学	3前	2			1				
	物性物理学	3前	2			2				
	天体物理学	3後	2		1	1				
	物質科学各論	4前	1							1
	小計(6科目)		11		2	5				1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
数理情報科学科目	幾何・代数学	2後		2		2					
	応用統計学	3前		2							1
	情報数学A	3前		2			1				
	情報数学B	3後		2		1					
	プログラミングⅡ	3前		2		1			1		
	数理情報科学各論	4前		1							1
	小計(6科目)	-		11		3	1		1		2
卒業研究関連科目	総合理学実習	3前	3			10	9	1			
	専門演習Ⅰ	3後	2			10	9	1			
	専門演習Ⅱ	4前	2			10	9	1			
	専門演習Ⅲ	4後	2			10	9	1			
	卒業研究Ⅰ	3後	4			10	9	1			
	卒業研究Ⅱ	4前	4			10	9	1			
	卒業研究Ⅲ	4後	4			10	9	1			
小計(7科目)	-	21			10	9	1				
外国語科目	自然科学英語	2後	2								1
	グローバルコミュニケーション	3前	2								1
	小計(2科目)		4								1
	総合博物学	2前		2		1					7
	教職概論2	2後			2						1
	教育学概論2	2前			2						1
	学校教育心理学	2後			2						3
	教育制度論	3後			2						2

専門 関 連 科 目	教育社会学	2前		2							2
	教育課程論	3前		2							1
	理科教育法1	3前		2							1
	理科教育法2	3後		2							1
	特別活動論	2後		2							1
	教育方法論2	3後		2							1
	生徒・進路指導論	2前		2							1
	教育相談	3後		2							1
	高等学校教育実習	4通		3							1
	教職実践演習	4後		2	1						1
小計(15科目)			2	29	2						20
合計(152科目)	-	47	224	30	10	10	1	1	0		105
卒業要件及び履修方法											
<p>【卒業要件】・以下の(1)、(2)の要件を満たし124単位以上を修得すること。  (1) 教養教育科目：共通科目から24単位以上(「大学特色科目」から2単位、「現代社会の諸相」及び「文化と人間性の探求」から4単位を含めて一般教養科目全体から8単位以上、外国語科目において「英語」から6単位以上、「その他の言語」から4単位以上、「情報科目」4単位、「健康・スポーツ科目」から2単位以上を含む)、基礎科目から「基礎生物学」及び「生物学」並びに「自然科学実験」を含めて21単位以上を修得すること。  (2) 専門教育科目：必修科目32単位、選択科目47単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限：48単位(年間))  【進級要件】・2年次終了時において、以下の[1]～[4]の要件の一つでも満たしていない者は3年次に進級できない。  [1] 教養教育科目における修得必要単位45単位の全てを修得していること。  [2] 「総合理学概論A」2単位及び「総合理学概論B」2単位並びに「総合理学実験入門」1単位を修得していること。  [3] 「生命科学実験」2単位及び「物質科学実験」2単位から2単位以上を修得していること。  [4] [2]、[3]を含めて専門教育科目から25単位以上を修得していること。  ・3年次終了時において、「専門演習Ⅰ」2単位及び「卒業研究Ⅰ」4単位を合わせて6単位を修得していない者は、4年次に進級することができない。</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・「平和論」の担当教員数を変更（4名→3名）
- ・兼任教員の変更に伴い、「宗教学入門」の開講学期を「後期」から「前期」へ変更
- ・記載誤りがあったため、「行動生態学」の科目区分を「自然と数理の探求」から「人間と自然」へ変更
- ・教育効果を高めるため、科目区分「英語」の科目の担当教員を追加
- ・「健康・スポーツ科学」の担当教員（兼任）1名が就任辞退
- ・教職課程認定申請に係る指摘対応のため、「学校教育心理学」及び「教育社会学」の担当教員を追加
- ・教職課程認定申請に係る指摘対応のため、「教育内容論1（教育課程論）」の科目名称を「教育課程論」へ変更

【令和元年度】

- ・教育課程充実のため、科目区分「大学特色科目」に「まちづくり論」を追加
- ・教育課程充実のため、科目区分「現代社会の諸相」に「人と法と医療」、「社会学C」、「社会環境論」、「フィールド研究からみるアジア」を追加
- ・記載誤りがあったため、「国際政治と社会」の担当教員数（兼任・兼任）を変更（1名→2名）
- ・記載誤りがあったため、「経済学：経済学の考え方」、「琉球・沖縄の歴史・文化を識る」、「文化に見る歴史」、「適応生理学」の専任教員等の配置の数字を削除
- ・教育課程充実のため、科目区分「文化と人間性の探求」に「日本文化の理解」、「日本語コミュニケーション」、「人間と表現」を追加
- ・教育効果を高めるため、「自然科学実験」の専任教員数を追加（13名→14名）
- ・教育効果を高めるため、「バイオサイエンス入門」の専任教員数を追加（2名→3名）
- ・教育効果を高めるため、「総合理学概論A」の専任教員数を追加（10名→11名）
- ・教育効果を高めるため、「生命科学実験」の専任教員数を追加（6名→7名）
- ・教育効果を高めるため、「分子遺伝学」の専任教員数を追加（1名→2名）
- ・教育効果を高めるため、「総合理学実習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」の専任教員数を追加（20名→21名）
- ・教育効果を高めるため、科目区分「英語」の科目の担当教員を追加
- ・教育課程充実のため、科目区分「英語」に「CS:TOEIC Preparation」を追加
- ・教育効果を高めるため、科目区分「その他の言語」の科目の担当教員を追加
- ・教育課程充実のため、科目区分「その他の言語」に「韓国語初級1」、「韓国語初級2」、「スペイン語初級1」、「スペイン語初級2」、「日本語手話初級1」、「日本語手話初級2」、「ポルトガル語入門」、「ロシア語入門」、「イタリア語入門」、「アラビア語入門」を追加
- ・履修順序を考慮し、「ドイツ語初級1」、「フランス語初級1」、「中国語初級1」の開講学期を「前期」から「前・後期」へ変更
- ・昇任のため、「健康・スポーツ科学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更
- ・昇任のため、「力学」、「電磁気学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・履修順序を考慮し、「微分積分」学の開講学期を「前期」から「前・後期」へ変更
- ・自然科学実験の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授8」から「准教授7」に変更
- ・教育職員免許法等の改正のため、「特別活動論」の科目名称を「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」に変更
- ・教育職員免許法等の改正のため、生徒・進路指導論の単位数を変更（2→3）
- ・教育職員免許法等の改正のため、科目区分「専門関連科目」に「特別支援教育2」を追加

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	116 科目	15 科目	152 科目	21 科目 [ 0 ]	135 科目 [ 19 ]	16 科目 [ 1 ]	172 科目 [ 20 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{152} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	計算誤りがあったため、合計の数値を202,066.16㎡に修正(元)			
	校 舎 敷 地	173,944.71 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	173,944.71 ㎡				
	運 動 場 用 地	2,175.00 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,175.00 ㎡				
	小 計	176,119.71 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	176,119.71 ㎡				
	そ の 他	25,946.45 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	25,946.45 ㎡				
	合 計	202,066.16 ㎡ <del>206,066.16 ㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	202,066.16 ㎡ <del>206,066.16 ㎡</del>				
(2) 校 舎	専 用	121,013.15 ㎡ <del>134,968.51 ㎡</del> (121,013.15 ㎡) <del>(134,968.51 ㎡)</del>	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	121,013.15 ㎡ <del>134,968.51 ㎡</del> (121,013.15 ㎡) <del>(134,968.51 ㎡)</del>	桜山キャンパスの西棟(13,955.36㎡)は病院施設であるが、控除されていなかったため、控除した数値に修正(元)			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	30 室	演 習 室 9 室	実験実習室 25 室	情報処理学習施設 4 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成30年4月専任教員1名を新規採用のため(授業科目の担当は、AC教員審査受審後)(30)			
	総合生命理学部 総合生命理学科		23 22 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌、視聴覚資料は学部単位での特定不能なため、滝子キャンパス全体の数。 視聴覚資料の計上方法は、今回より「文科省学術情報基盤実態調査」での報告に準じた(マイクロ資料除外、及び種類数から点数へ変更)ため、前回より減少。電子ジャーナル数はキャンパス単位の計上が困難なため、今回より全学数(30)	
	総合生命理学部	567,606 [181,980] <del>566,812 [181,747]</del> 564,600 [181,022]  (567,606 [181,980]) <del>(566,812 [181,747])</del> <del>(564,541 [180,995])</del>	6,657 [2,221] <del>6,664 [2,222]</del> 6,649 [2,208]	25,539 [24,168] <del>19,706 [18,674]</del> 3,297 [3,297]	418 <del>411</del> 629	637 <del>594</del> 425	5,167 <del>4,562</del> 2,209		
		(567,606 [181,980]) <del>(6,664 [2,222])</del> <del>(6,649 [2,208])</del>	(25,539 [24,168]) <del>(19,706 [18,674])</del> <del>(3,297 [3,297])</del>	( 418 ) <del>( 411 )</del> <del>( 629 )</del>	( 637 ) <del>( 594 )</del> <del>( 425 )</del>	( 5,167 ) <del>( 4,562 )</del> <del>( 2,209 )</del>			
	計	567,606 [181,980] <del>566,812 [181,747]</del> 564,600 [181,022]  (567,606 [181,980]) <del>(566,812 [181,747])</del> <del>(564,541 [180,995])</del>	6,657 [2,221] <del>6,664 [2,222]</del> 6,649 [2,208]	25,539 [24,168] <del>19,706 [18,674]</del> 3,297 [3,297]	418 <del>411</del> 629	637 <del>594</del> 425	5,167 <del>4,562</del> 2,209		図書、学術雑誌、視聴覚資料、電子ジャーナルの計上方法は30年度と同様(元) 機械・器具、標本は教育環境の充実を図るために整備(30) 機械・器具、標本は教育環境の充実を図るために整備。標本は、動物が4881点、植物が286点で、ともに増加(元)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	7,785.00 ㎡		516	777,972					
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	2,148.00 ㎡		テニスコート、トレーニングルーム、フール、弓道場、野球場、馬場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	30年度予算を反映(30) 元年度予算を反映(元)
		教員1人当たり研究費等	481千円	480千円 <del>472千円</del> 481千円	図書購入費	5,073千円	5,137千円 5,249千円	5,669千円 <del>5,137千円</del> 5,249千円	
		共同研究費等	68,280千円	74,522千円 <del>69,850千円</del> 68,280千円	設備購入費	9,510千円	17,062千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生1人あたり納付金の第1年次上段は名古屋市民、下段はその他	
		767.8千円 867.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円				
学生納付金以外の維持方法の概要									

- 
- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋市立大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
総合生命理学部	4	41	-	161	学士 (理学)	1.02	平成31年度	平成30年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1	定員変更 (1)
総合生命理学科	4	41	-	161	学士 (理学)	1.02	平成31年度	平成30年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1	定員変更 (1)
医学部	6	97	-	580	学士 (医学)	1.00		昭和27年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1	
医学科	6	97	-	580	学士 (医学)	1.00		昭和27年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1	
薬学部		100		520		1.11				
薬学科	6	60	-	360	学士 (薬学)	1.09		平成18年度	愛知県名古屋市 瑞穂区田辺通3丁 目1番地	
生命薬科学科	4	40	-	160	学士 (薬科学)	1.14		平成18年度	同上	
経済学部		230		920		1.04				
公共政策学科	4	90	-	360	学士 (経済学)	1.04		平成19年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1	
マネジメントシステム学科	4	80	-	320	学士 (経営学)	1.04	-	平成19年度	同上	
会計ファイナンス学科	4	60	-	240	学士 (経営学)	1.04		平成19年度	同上	
人文社会学部		194	12	800		1.05				
心理教育学科	4	59	2	240	学士 (人文社会 学)	1.06		平成25年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1	
現代社会学科	4	67	6	280	学士 (人文社会 学)	1.05		平成8年度	同上	
国際文化学科	4	68	4	280	学士 (人文社会 学)	1.02		平成8年度	同上	
芸術工学部		100		400		1.04				
情報環境デザイン学科	4	30	-	120	学士 (芸術工 学)	1.04		平成24年度	愛知県名古屋市 千種区北千種2丁 目1番10号	
産業イノベーションデザイン学科	4	30	-	120	学士 (芸術工 学)	1.04		平成24年度	同上	
建築都市デザイン学科	4	40	-	160	学士 (芸術工 学)	1.02		平成24年度	同上	
看護学部	4	80	-	324	学士 (看護学)	1.00		平成11年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1	

看護学科	4	80	-	324	学士 (看護学)	1.00	平成11年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1
大学全体	-	842	12	3705	-	1.04	-	-
医学研究科	18	62		228		0.92		
修士課程	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.80	平成20年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1
医科学専攻	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.80	平成20年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1
博士課程	16	52		208		0.92		
生体機能・構造 医学専攻	4	15	-	60	博士 (医学)	1.03	平成12年度	同上
生体情報・機能 制御医学専攻	4	15	-	60	博士 (医学)	0.76	平成12年度	同上
生体防御・総合 医学専攻	4	18	-	72	博士 (医学)	1.03	平成12年度	同上
予防・社会医学 専攻	4	4	-	16	博士 (医学)	0.62	平成12年度	同上
薬学研究科	12	64		160		0.90		
博士前期課程	2	42	-	84	修士 (薬科学)	1.07	平成22年度	愛知県名古屋市 瑞穂区田辺通3丁 目1番地
創薬生命科学 専攻	2	42	-	84	修士 (薬科学)	1.07	平成22年度	愛知県名古屋市 瑞穂区田辺通3丁 目1番地
博士後期課程	6	12		36		0.55		
創薬生命科学 専攻	3	8	-	24	博士 (薬科学)	0.70	平成24年度	同上
共同ナノメ イン 科学専攻	3	4	-	12	博士 (ナノメ イン 科学)	0.25	平成25年度	同上
博士課程	4	10	-	40	博士 (薬学)	0.97	平成24年度	同上
医療機能薬学 専攻	4	10	-	40	博士 (薬学)	0.97	平成24年度	同上
経済学研究科	10	45		95		0.57		
博士前期課程	4	40		80		0.62		
経済学専攻	2	20	-	40	修士 (経済学)	0.40	平成20年度	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1
経営学専攻	2	20	-	40	修士 (経済学) 修士 (経営学)	0.85	平成20年度	同上
博士後期課程	6	5		15		0.26		
経済学専攻	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.22	平成20年度	同上
経営学専攻	3	2	-	6	博士 (経済学) 博士 (経営学)	0.33	平成20年度	同上

人間文化研究科	5	40		85	0.95		
博士前期課程	2	35	-	70	修士 (人間文化)	1.28	平成12年度 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
人間文化専攻	2	35	-	70	修士 (人間文化)	1.28	平成12年度 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (人間文化)	0.66	平成14年度 同上
人間文化専攻	3	5	-	15	博士 (人間文化)	0.66	平成14年度 同上
芸術工学研究科	5	35		75		0.72	
博士前期課程	2	30	-	60	修士 (芸術工学)	0.78	平成12年度 愛知県名古屋市千種区北千種2丁目1番10号
芸術工学専攻	2	30	-	60	修士 (芸術工学)	0.78	平成12年度 愛知県名古屋市千種区北千種2丁目1番10号
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (芸術工学)	0.73	平成14年度 同上
芸術工学専攻	3	5	-	15	博士 (芸術工学)	0.73	平成14年度 同上
看護学研究科	5	29		63		0.57	
博士前期課程	2	24	-	48	修士 (看護学)	0.80	平成15年度 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
看護学専攻	2	24	-	48	修士 (看護学)	0.80	平成15年度 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (看護学)	0.73	平成17年度 同上
看護学専攻	3	5	-	15	博士 (看護学)	0.73	平成17年度 同上
システム自然科学研究科	5	20		45		0.45	
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (理学)	0.59	平成12年度 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
理学情報専攻	2	15	-	30	修士 (理学)	0.59	平成12年度 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (理学)	0.40	平成14年度 同上
理学情報専攻	3	5	-	15	博士 (理学)	0.40	平成14年度 同上
大学院全体	60	295		751		0.73	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を

記入してください。

5 教員組織の状況

<総合生命理学部 総合生命理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学部長)		植物生理学※ 分子生物学I 細胞生物学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習III 基礎生物学 自然科学実験※ バイオサイエンス入門
専	教授		幾何・代数学※ 幾何学 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 線形代数学II 線形代数学I
専	教授		幾何・代数学※ 代数学 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 線形代数学II 微分積分学
専	教授		応用生物学 植物生理学※ 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 総合理学実験入門※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 自然科学実験※ 植物とバイオテクノロジー
専	教授		生命科学情報学I※ 進化学I 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 総合物理学※ 化学熱力学基礎 自然科学実験※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学部長)		植物生理学※ 分子生物学I 細胞生物学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習III 基礎生物学 自然科学実験※ バイオサイエンス入門
専	教授		幾何・代数学※ 幾何学 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 線形代数学II 線形代数学I
専	教授		幾何・代数学※ 代数学 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 線形代数学II 微分積分学
専	教授		応用生物学 植物生理学※ 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 総合理学実験入門※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 自然科学実験※ 植物とバイオテクノロジー
専	教授		生命科学情報学I※ 進化学I 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 総合物理学※ 化学熱力学基礎 自然科学実験※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学部長)		植物生理学※ 分子生物学I <b>細胞生物学</b> 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習III 基礎生物学 自然科学実験※ バイオサイエンス入門
専	教授		幾何・代数学※ 幾何学 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 線形代数学II 線形代数学I
専	教授		幾何・代数学※ 代数学 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 線形代数学II 微分積分学
専	教授		応用生物学 植物生理学※ 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 総合理学実験入門※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 自然科学実験※ 植物とバイオテクノロジー
専	教授		<b>自然科学実験※</b> <b>バイオサイエンス入門※</b> <b>総合理学概論A※</b> <b>生命科学実験※</b> <b>細胞生物学</b> <b>分子遺伝学</b> <b>総合理学実習※</b> <b>専門演習I</b> <b>専門演習II</b> <b>専門演習III</b> <b>卒業研究I</b> <b>卒業研究II</b> <b>卒業研究III</b>
専	教授		生命科学情報学I※ 進化学I 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 専門演習I 専門演習II 専門演習III 総合物理学※ 化学熱力学基礎 自然科学実験※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	機器分析化学※ 有機元素化学 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 有機化学 自然科学実験※ 教職実践演習(中・高)※
		物理数学※ 天体物理学※ 地学概論※ 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 物理学基礎 自然科学実験※
専	教授	進化学Ⅱ 生命情報学Ⅰ※ 総合化学実習※ 総合化学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 統計学B
		応用生理学※ 基礎生理学 総合化学実習※ 総合化学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 健康・スポーツ科学※
専	教授	情報数学B プログラミングⅡ※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ
		物性物理学※【隔年】 量子力学※ 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 電磁気学 力学 自然科学実験※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	機器分析化学※ 有機元素化学 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 有機化学 自然科学実験※ 教職実践演習(中・高)※
		物理数学※ 天体物理学※ 地学概論※ 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 物理学基礎 自然科学実験※
専	教授	進化学Ⅱ 生命情報学Ⅰ※ 総合化学実習※ 総合化学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 統計学B
		応用生理学※ 基礎生理学 総合化学実習※ 総合化学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 健康・スポーツ科学※
専	教授	情報数学B プログラミングⅡ※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ
		物性物理学※【隔年】 量子力学※ 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 電磁気学 力学 自然科学実験※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	機器分析化学※ 有機元素化学 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 有機化学 自然科学実験※ 教職実践演習(中・高)※
		物理数学※ 天体物理学※ 地学概論※ 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 物理学基礎 自然科学実験※
専	教授	進化学Ⅱ 生命情報学Ⅰ※ 総合化学実習※ 総合化学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 統計学B
		応用生理学※ 基礎生理学 総合化学実習※ 総合化学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 健康・スポーツ科学※
専	教授	情報数学B プログラミングⅡ※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ
		物性物理学※【隔年】 量子力学※ 物質科学実験※ 総合化学実習※ 総合化学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 電磁気学 力学 自然科学実験※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	機器分析化学※ 物理化学 物質科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 総合理学実験入門※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 化学基礎 自然科学実験※	専	准教授	機器分析化学※ 物理化学 物質科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 総合理学実験入門※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 化学基礎 自然科学実験※	専	准教授	機器分析化学※ 物理化学 物質科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 総合理学実験入門※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 化学基礎 自然科学実験※
専	准教授	生物機能化学※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※	専	准教授	生物機能化学※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※	専	准教授	生物機能化学※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※
専	准教授	分子生物学Ⅱ 分子遺伝学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 生物学 自然科学実験※ バイオサイエンス入門	専	准教授	分子生物学Ⅱ 分子遺伝学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 生物学 自然科学実験※ バイオサイエンス入門	専	准教授	分子生物学Ⅱ 分子遺伝学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 生物学 自然科学実験※ バイオサイエンス入門
専	准教授	情報数学A プログラミングⅠ※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 線形代数学Ⅰ 微分積分学	専	准教授	情報数学A プログラミングⅠ※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 線形代数学Ⅰ 微分積分学	専	准教授	情報数学A プログラミングⅠ※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 線形代数学Ⅰ 微分積分学
専	准教授	物性物理学※【隔年】 量子力学※ 物質科学実験※ 総合理学概論B※ 自然科学実験※	専	准教授	物性物理学※【隔年】 量子力学※ 物質科学実験※ 総合理学概論B※ 自然科学実験※	専	准教授	物性物理学※【隔年】 量子力学※ 物質科学実験※ 総合理学概論B※ 自然科学実験※
専	准教授	生物機能化学※ 生化学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※	専	准教授	生物機能化学※ 生化学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※	専	准教授	生物機能化学※ 生化学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※
専	准教授	統計力学【隔年】 物理数学※ 天体物理学※ 地学概論※ 物質科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 総合理学実験入門※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 波動・熱力学 自然科学実験※	専	准教授	統計力学【隔年】 物理数学※ 天体物理学※ 地学概論※ 物質科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 総合理学実験入門※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 波動・熱力学 自然科学実験※	専	准教授	統計力学【隔年】 物理数学※ 天体物理学※ 地学概論※ 物質科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 総合理学実験入門※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 波動・熱力学 自然科学実験※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	生態測定学※ 生態学 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※ 行動生態学
専	准教授	情報処理発展※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 情報処理応用 情報処理基礎
専	講師	応用生理学※ 分子生理学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 健康・スポーツ科学※
専	助教	プログラミングⅡ※ プログラミングⅠ※ 情報処理発展※
兼任	教授	総合神経科学※
兼任	教授	社会学A※
兼任	教授	社会人になるA 社会人になるB 自分とみんなで考える哲学
兼任	教授	文化に見る歴史
兼任	教授	学校教育心理学 心理学入門
兼任	教授	日本国憲法 法学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	生態測定学※ 生態学 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※ 行動生態学
専	准教授	情報処理発展※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 情報処理応用 情報処理基礎
専	講師	応用生理学※ 分子生理学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 健康・スポーツ科学※
専	助教	プログラミングⅡ※ プログラミングⅠ※ 情報処理発展※
兼任	教授	総合神経科学※
兼任	教授	社会学A※
兼任	教授	社会人になるA 社会人になるB 自分とみんなで考える哲学
兼任	教授	文化に見る歴史
兼任	教授	学校教育心理学※ 心理学入門
兼任	教授	日本国憲法 法学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	生態測定学※ 生態学 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 自然科学実験※ 行動生態学
専	准教授	情報処理発展※ 総合理学実習※ 総合理学概論B※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 情報処理応用 情報処理基礎
専	准教授	応用生理学※ 分子生理学 生命科学実験※ 総合理学実習※ 総合理学概論A※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 健康・スポーツ科学※
専	助教	プログラミングⅡ※ プログラミングⅠ※ 情報処理発展※
兼任	教授	総合神経科学※
兼任	教授	社会学A※
兼任	教授	社会人になるA 社会人になるB 自分とみんなで考える哲学
兼任	教授	文化に見る歴史
兼任	教授	学校教育心理学※ 心理学入門
兼任	教授	日本国憲法 法学入門



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平和論※ 琉球・沖縄の歴史・文化を講 る
兼任	教授	教職実践演習(中・高)※ 高等学校教育実習 EM: Reading for Inspiration
兼任	教授	放射線生物学※
兼任	教授	生物統計学
兼任	教授	経済学：経済学の考え方
兼任	教授	健康・スポーツ実技
兼任	教授	教育学概論2 教職概論2 教育内容論1(教育課程論) 現代教育の諸相
兼任	教授	CS: Grammar and Usage
兼任	教授	討論の中で問題を発見する哲 学 ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	教授	国際政治と社会
兼任	教授	経営学：企業活動の諸相
兼任	教授	文化に見る歴史
兼任	教授	教育制度論 次世代育成と地域の課題※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平和論※ 琉球・沖縄の歴史・文化を講 る
兼任	教授	教職実践演習(中・高)※ 高等学校教育実習
兼任	教授	放射線生物学※
兼任	教授	生物統計学
兼任	教授	経済学：経済学の考え方
兼任	教授	健康・スポーツ実技
兼任	教授	教育学概論2 教職概論2 教育課程論 現代教育の諸相
兼任	教授	CS: Grammar and Usage
兼任	教授	討論の中で問題を発見する哲 学 ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	教授	国際政治と社会 EM: Reading for Inspiration
兼任	教授	経営学：企業活動の諸相
兼任	教授	文化に見る歴史
兼任	教授	教育制度論 次世代育成と地域の課題※ 教育社会学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平和論※ 琉球・沖縄の歴史・文化を講 る
兼任	教授	教職実践演習(中・高)※ 高等学校教育実習
兼任	教授	放射線生物学※
兼任	教授	経済学：経済学の考え方
兼任	教授	健康・スポーツ実技
兼任	教授	教育学概論2 教職概論2 教育課程論 現代教育の諸相
兼任	教授	CS: Grammar and Usage
兼任	教授	フィールド研究からみるア ジア※
兼任	教授	討論の中で問題を発見する哲 学 ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	教授	国際政治と社会
兼任	教授	経営学：企業活動の諸相
兼任	教授	文化に見る歴史
兼任	教授	教育制度論 次世代育成と地域の課題※ 教育社会学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	
		教育相談
兼任	教授	
		平和論※ 東ヨーロッパの文化と歴史
兼任	准教授	
		心理学概論
兼任	准教授	
		社会学B
兼任	准教授	
		放射線生物学※
兼任	准教授	
		EM: Reading for Inspiration
兼任	准教授	
		次世代育成と地域の課題※
兼任	准教授	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	准教授	
		EM: Popular Culture
兼任	准教授	
		平和論※
兼任	准教授	
		音楽と文化
兼任	准教授	
		フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	准教授	
		放射線生物学※
兼任	准教授	
		現代教育の諸相※ 教育社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	
		教育相談
兼任	教授	
		東ヨーロッパの文化と歴史
兼任	准教授	
		心理学概論 学校教育心理学※
兼任	准教授	
		社会学B
兼任	准教授	
		放射線生物学※
兼任	准教授	
		EM: Reading for Inspiration
兼任	准教授	
		次世代育成と地域の課題※
兼任	准教授	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	准教授	
		EM: Popular Culture
兼任	准教授	
		平和論※
兼任	准教授	
		音楽と文化
兼任	准教授	
		フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	准教授	
		放射線生物学※
兼任	准教授	
		現代教育の諸相※ 教育社会学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	
		教育相談
兼任	教授	
		東ヨーロッパの文化と歴史
兼任	准教授	
		心理学概論 学校教育心理学※
兼任	准教授	
		社会学B
兼任	准教授	
		放射線生物学※
兼任	准教授	
		EM: Reading for Inspiration フィールド研究からみるアジア※
兼任	准教授	
		次世代育成と地域の課題※
兼任	准教授	
		EM: Online Articles and Videos フィールド研究からみるアジア※
兼任	准教授	
		EM: Popular Culture
兼任	准教授	
		平和論※
兼任	准教授	
		音楽と文化
兼任	准教授	
		人間と表現※
兼任	准教授	
		フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	准教授	
		日本文化の理解
兼任	准教授	
		放射線生物学※
兼任	准教授	
		現代教育の諸相※ 教育社会学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授							
		死の文化学			死の文化学			
兼任	准教授							
		CS: Grammar and Usage						
兼任	准教授							
		中国語初級1 中国語初級2						
							兼任 准教授	フィールド研究からみるアジア※
兼任	准教授		兼任	准教授		兼任	准教授	
		平和論※ 国際政治と社会			平和論※ 国際政治と社会			平和論※ 国際政治と社会
兼任	准教授		兼任	准教授		兼任	准教授	
		私たちの暮らしと政治・行政・地方自治			私たちの暮らしと政治・行政・地方自治			私たちの暮らしと政治・行政・地方自治 まちづくり論
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		放射線生物学※			放射線生物学※			放射線生物学※
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		放射線生物学※			放射線生物学※			放射線生物学※
							兼任 講師	社会学C
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		放射線生物学※			放射線生物学※			放射線生物学※
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		数理情報科学各論			数理情報科学各論			数理情報科学各論
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		都市と地域構造の地理学			都市と地域構造の地理学			都市と地域構造の地理学
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		生命科学各論			生命科学各論			生命科学各論
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		放射線生物学※			放射線生物学※			放射線生物学※
							兼任 講師	GS: TOEIC Preparation
			兼任 講師			兼任 講師		
					EM: World News			EM: World News

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		
		古生物学
兼任 講師		IS: The Arts AE: Interact Internationally CS: Presentation
兼任 講師		教育制度論
兼任 講師		健康・スポーツ科学
兼任 講師		健康・スポーツ科学
兼任 講師		囲碁に学ぶ
兼任 講師		適応生理学
兼任 講師		科学史
兼任 講師		学校教育心理学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		古生物学
兼任 講師		GS: Grammar and Usage
兼任 講師		EM: Online Articles and Videos
兼任 講師		IS: The Arts AE: Interact Internationally CS: Presentation
兼任 講師		教育制度論
兼任 講師		健康・スポーツ科学
兼任 講師		健康・スポーツ科学
兼任 講師		囲碁に学ぶ
兼任 講師		適応生理学
兼任 講師		科学史
兼任 講師		EM: World News
兼任 講師		学校教育心理学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		古生物学
兼任 講師		GS: Grammar and Usage
兼任 講師		EM: Reading for Inspiration
兼任 講師		IS: The Arts AE: Interact Internationally CS: Presentation
兼任 講師		教育制度論
兼任 講師		健康・スポーツ科学
兼任 講師		EM: Popular Culture
兼任 講師		中国語初級1 中国語初級2
兼任 講師		健康・スポーツ科学
兼任 講師		囲碁に学ぶ
兼任 講師		適応生理学
兼任 講師		科学史
兼任 講師		EM: World News
兼任 講師		特別支援教育2
兼任 講師		日本語初級1 日本語初級2
兼任 講師		学校教育心理学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		
		教育方法論2
兼任 講師		総合博物学※
兼任 講師		社会学 A
兼任 講師		IS: Life & Work AE: Produce a Movie CS: Presentation
兼任 講師		物質科学各論
		放射線生物学※
兼任 講師		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		教育方法論2
兼任 講師		GS: Grammar and Usage
兼任 講師		総合博物学※
兼任 講師		社会学 A
兼任 講師		IS: Life & Work AE: Produce a Movie CS: Presentation
兼任 講師		物質科学各論
		放射線生物学※
兼任 講師		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		教育方法論2
兼任 講師		日本語初級 1
兼任 講師		GS: Grammar and Usage
兼任 講師		総合博物学※
兼任 講師		ポルトガル語入門
兼任 講師		社会学 A ※
兼任 講師		韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任 講師		スペイン語初級 1 スペイン語初級 2
兼任 講師		日本語コミュニケーション
兼任 講師		
		中国語初級 1 中国語初級 2
兼任 講師		物質科学各論
		放射線生物学※
兼任 講師		生物統計学
兼任 講師		アラビア語入門
兼任 講師		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		自然科学英語 グローバルコミュニケーション
兼任 講師		応用倫理学－生命倫理の現在
兼任 講師		生命情報学II
兼任 講師		宗教学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		自然科学英語 グローバルコミュニケーション
兼任 講師		EM: Popular Culture
兼任 講師		EM: Popular Culture
兼任 講師		応用倫理学－生命倫理の現在
兼任 講師		EM: Reading for Inspiration
兼任 講師		中国語初級1 中国語初級2
兼任 講師		生命情報学II
兼任 講師		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		自然科学英語 グローバルコミュニケーション
兼任 講師		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任 講師		EM: Popular Culture
兼任 講師		応用倫理学－生命倫理の現在
兼任 講師		フランス語初級1 フランス語初級2
兼任 講師		ロシア語入門
兼任 講師		総合博物館学※
兼任 講師		中国語初級1
兼任 講師		
兼任 講師		中国語初級1 中国語初級2
兼任 講師		中国語初級1 中国語初級2
兼任 講師		生命情報学II
兼任 講師		GS: Grammar and Usage
兼任 講師		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	発生生物学
兼任	講師	クロマチン生物化学
兼任	講師	解析学
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	IS: Community AE: Improve Life Skills GS: Presentation
兼任	講師	なぜ憲法が必要なのか

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		宗教学入門
兼任	講師	発生生物学
兼任	講師	クロマチン生物化学
兼任	講師	EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	解析学
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	EM: Reading for Inspiration
兼任	講師	IS: Community AE: Improve Life Skills GS: Presentation
兼任	講師	EM: Popular Culture
兼任	講師	EM: Popular Culture
兼任	講師	EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	なぜ憲法が必要なのか
兼任	講師	IS: The Arts AE: Produce a Movie GS: Presentation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		宗教学入門
兼任	講師	発生生物学
兼任	講師	クロマチン生物化学
兼任	講師	EM: Online Articles and Videos GS: TOEIC Preparation
兼任	講師	解析学
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	イタリア語入門
兼任	講師	ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	EM: Reading for Inspiration
兼任	講師	IS: Community AE: Improve Life Skills GS: Presentation
兼任	講師	EM: Popular Culture
兼任	講師	EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	なぜ憲法が必要なのか
兼任	講師	IS: The Arts AE: Produce a Movie GS: Presentation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
		総合博物学※
兼任	講師	
		IS: Social Justice AE: Make a Difference in Your Community EM: World News EM: Reading for Inspiration
兼任	講師	
		総合博物学※
兼任	講師	
		理科教育法 1 理科教育法 2
兼任	講師	
兼任	講師	環境と社会・制度・政治・経済 ESDと地域の環境
兼任	講師	
		総合博物学※
兼任	講師	
		総合神経科学※
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
		総合博物学※
兼任	講師	
		IS: Social Justice AE: Make a Difference in Your Community <b>AE: Improve Life Skills</b> EM: World News EM: Reading for Inspiration
兼任	講師	
		総合博物学※
兼任	講師	
		理科教育法 1 理科教育法 2
兼任	講師	
		<b>IS: Social Justice</b> <b>AE: Make a Difference in Your Community</b> <b>GS: Presentation</b>
兼任	講師	環境と社会・制度・政治・経済 ESDと地域の環境
兼任	講師	
		<b>EM: World News</b>
兼任	講師	
		総合博物学※
兼任	講師	
		総合神経科学※
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
兼任	講師	<b>人と法と医療※</b>
兼任	講師	
		IS: Social Justice <b>AE: Improve Life Skills</b> EM: World News EM: Reading for Inspiration
		<b>中国語初級 1</b> <b>中国語初級 2</b>
兼任	講師	
		総合博物学※
兼任	講師	
		<b>ドイツ語初級 1</b> <b>ドイツ語初級 2</b>
兼任	講師	
		理科教育法 1 理科教育法 2
兼任	講師	
		<b>IS: Social Justice</b> <b>AE: Make a Difference in Your Community</b> <b>GS: Presentation</b>
兼任	講師	
		<b>フランス語初級 1</b> <b>フランス語初級 2</b>
兼任	講師	環境と社会・制度・政治・経済 ESDと地域の環境
兼任	講師	
		<b>EM: World News</b> <b>GS: TOEIC Preparation</b>
兼任	講師	
		総合博物学※
兼任	講師	
		総合神経科学※
兼任	講師	
		<b>フランス語初級 1</b> <b>フランス語初級 2</b>



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	現代社会と人と地域のつながり
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学
兼任	講師	欧州史の中の北欧史
兼任	講師	アメリカ史入門
兼任	講師	応用統計学
兼任	講師	健康・スポーツ科学
兼任	講師	生徒・進路指導論 特別活動論
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	生態測定学※
兼任	講師	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	現代社会と人と地域のつながり
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	欧州史の中の北欧史
兼任	講師	アメリカ史入門
兼任	講師	応用統計学
兼任	講師	健康・スポーツ科学
兼任	講師	生徒・進路指導論 特別活動論
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	生態測定学※
兼任	講師	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題
兼任	講師	EM: Online Articles and Videos

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	韓国語初級1 韓国語初級2
兼任	講師	IS: Life & Work AE: Interact Internationally GS: Presentation
兼任	講師	現代社会と人と地域のつながり
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	欧州史の中の北欧史
兼任	講師	アメリカ史入門
兼任	講師	応用統計学
兼任	講師	健康・スポーツ科学
兼任	講師	生徒・進路指導論 特別活動論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	総合博物学※
兼任	講師	人と法と医療※
兼任	講師	ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	生態測定学※
兼任	講師	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題
兼任	講師	EM: Online Articles and Videos

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	IS: Health & Well-being	兼任	講師	IS: Health & Well-being	兼任	講師	IS: Health & Well-being
		AE: Raise Health/Environmental Awareness CS: Presentation			AE: Raise Health/Environmental Awareness CS: Presentation			AE: Raise Health/Environmental Awareness CS: Presentation
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	
		健康・スポーツ科学			健康・スポーツ科学			健康・スポーツ科学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、**置可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程認定申請に係る審査対応の都合上、担当教員（「学校教育心理学」に 准教授（兼任）および 講師（兼任）、「教育社会学」に 教授（兼任））を追加し、オムニバス科目へ変更</li> <li>・教職課程認定申請に係る審査対応の都合上、「教育内容論1（教育課程論）」を「教育課程論」に名称変更（担当教員： 教授（兼任））</li> <li>・教育効果を高めるため、また、 准教授（兼任） 辞任により、科目区分「英語」の科目の担当教員を追加。追加教員・担当科目は以下のとおり。 教授（兼任）</li> <li>「EM: Reading for Inspiration」、 講師（兼任）「EM: World News」、 講師（兼任）「CS: Grammar and Usage」、 講師（兼任）「EM: OnlineArticles and Videos」、 講師（兼任）「EM: World News」、 講師（兼任）「CS: Grammar and Usage」、 講師（兼任）「EM: PopularCulture」、 講師（兼任）「EM: PopularCulture」、 講師（兼任）「EM: Reading for Inspiration」、 講師（兼任）「EM: PopularCulture」、 講師（兼任）「EM: OnlineArticles and Videos」、 講師（兼任）「EM: PopularCulture」、 講師（兼任）「IS: The Arts」「AE: Produce a Movie」「CS: Presentation」、 講師（兼任）「AE: Improve LifeSkills」、 講師（兼任）「IS: SocialJustice」「AE: Make a Difference in Your Community」「CS: Presentation」、 講師（兼任）「EM: World News」、 講師（兼任）「EM: OnlineArticles and Videos」</li> <li>・「平和論」の担当教員数を変更（4名→3名（ 教授（兼任）を担当から削除））</li> <li>・「東ヨーロッパの文化と歴史」を隔年開講としたことに伴い、 教授（兼任）の就任（予定）年月を「平成30年9月」から「平成31年9月」に変更</li> <li>・「健康・スポーツ科学」の担当教員（ 講師（兼任））1名が就任辞退</li> <li>・ 准教授（兼任） 辞任により、 講師（兼任）に変更（担当科目：「中国語初級1」「中国語初級2」）</li> <li>・ 講師（兼任） 就任辞退により、 講師（兼任）に変更（担当科目：「宗教学入門」）</li> </ul>
---

【令和元年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年9月、専任に 教授就任。平成30年8月教員審査済み。</li> <li>・平成31年4月、専任の 教授が准教授から、 准教授が講師からそれぞれ昇任。平成31年2月教員審査済み。</li> <li>・教育効果を高めるため、「自然科学実験」「バイオサイエンス入門」「総合理学概論A」「生命科学実験」「分子遺伝学」「総合理学実習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」の担当教員を追加し、 教授（専任） 就任により担当。また、「細胞生物学」を 教授（専任） 就任により担当。また、「細胞生物学」を 教授（専任） 就任により担当。</li> <li>・ 講師（兼任） 退任、 教授（兼任） 担当辞退により、「EM: Reading for Inspiration」に 教授（兼任） 就任し、 講師（兼任） が「EM: Online Articles and Videos」から変更して担当。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「社会環境論」に 教授（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「フィールド研究からみるアジア」に 教授（兼任）、 准教授（兼任） 就任</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「人間と表現」に 准教授（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「日本文化の理解」に 准教授（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「社会学C」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「CS: TOEIC Preparation」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・ 講師（兼任） 及び 講師（兼任） 退任により、「EM: Popular Culture」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育効果を高めるため担当教員を追加し、「中国語初級1」「中国語初級2」に 講師（兼任）、 講師（兼任）、 講師（兼任）、 講師（兼任）「中国語初級1」「中国語初級2」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「特別支援教育2」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「日本手話初級1」「日本手話初級2」に 講師（兼任） 就任。「日本手話初級1」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「韓国語初級1」「韓国語初級2」に 講師（兼任）、 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「スペイン語初級1」「スペイン語初級2」に 講師（兼任）、 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「日本語コミュニケーション」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・ 教授（兼任） 就任辞退により、「生物統計学」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「アラビア語入門」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「ポルトガル語入門」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育効果を高めるため担当教員を追加し、「ドイツ語初級1」「ドイツ語初級2」に 講師（兼任）、 講師（兼任）、 講師（兼任）、 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育効果を高めるため担当教員を追加し、「フランス語初級1」「フランス語初級2」に 講師（兼任）、 講師（兼任）、 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「ロシア語入門」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・ 講師（兼任） 辞任により、「総合博物館」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育効果を高めるため担当教員を追加し、「CS: Grammar and Usage」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「イタリア語入門」に 講師（兼任） 就任。</li> <li>・教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「人と法と医療」に 講師（兼任）、 講師（兼任） 就任。</li> <li>・ 講師（兼任） 退任により、「IS: Life &amp; Work」「CS: Presentation」に、また、教育効果を高めるため担当教員を追加し、「AE: Interact Internationally」に、 講師（兼任） 就任。</li> <li>・ 准教授（兼任） 退任（担当科目：「死の文化学」は後任未定であるが隔年開講で今年は未開講）。</li> <li>・ 准教授（兼任） 及び 准教授（兼任） の担当科目に「フィールド研究からみるアジア」を追加。</li> <li>・ 准教授（兼任） の担当科目に「まちづくり論」を追加。</li> <li>・ 講師（兼任） 及び 講師（兼任） の担当科目に「CS: TOEIC Preparation」を追加。</li> </ul>
--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済み」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
10	10	1	1	22	12	10	0	1	23
(10)	(10)	(1)	(1)	(22)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
12	10	0	1	23	12	10	0	1	23
[ 2 ]	[ ]	[ Δ 1 ]	[ ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ ]	[ Δ 1 ]	[ ]	[ 1 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{22} = \boxed{104.54} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

<総合生命理学部 総合生命理学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学定員 40名</p> <p>② 選抜方法</p> <p>一般入試のみを行う。本学の選抜は、前期日程・中期日程・後期日程で行っているが、本学部については後期日程のみを実施する。選抜方法としては、個別学力検査等の結果及び大学入試センター試験の成績を総合的に判定して、最終合格者を決定する。2段階選抜は行わない。</p>	<p>① 推薦入試確保のため、1名増加したので、以下のように変更する。 <b>41名</b></p> <p>② 高大接続推進と多様な入試実現のため、推薦入試を追加したので、以下のように変更する。</p> <p>一般入試及び推薦入試のみを行う。本学の選抜は、前期日程・中期日程・後期日程で行っているが、本学部については後期日程のみを実施する。選抜方法としては、個別学力検査等の結果及び大学入試センター試験の成績を総合的に判定して、最終合格者を決定する。2段階選抜は行わない。推薦入試の内容は以下のとおりである。</p> <p>総合生命理学部 名古屋市立高等学校連携指定校推薦入試 募集人員：総合生命理学科 1名</p> <p>選抜期日・方法： 面接試験（課題研究発表および口述）を実施する。 出願書類、大学入試センター試験の成績及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。</p> <p>【大学入試センター試験の教科及び配点】 国語100 数学100 外国語100 地理歴史又は公民50 理科150 計500 ※ 「国語」は100点満点とする。 ※ 「数学」は各科目50点満点とする。 ※ 「外国語」は100点満点とする。なお、「外国語」の英語はリスニングを含む。リスニングの配点比率は20%（筆記80点、リスニング20点）とする。 ※ 「地理歴史、公民」は50点満点とする。なお、「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。 ※ 「理科」は各75点満点とする。</p> <p>出願資格： 本学総合生命理学部への入学を強く希望し、以下の各号の全てに該当する者 (1) 本学が指定する高等学校を平成31年3月に卒業見込みの者 ※1 (2) 調査書の数学、理科、英語のそれぞれの評定平均値が□すべて3.6以上である者 (3) 将来、基礎自然科学または数理・情報科学分野の研究・発展に対して貢献が期待できる者及び適性等を有する人物として、当該高等学校長が責任をもって推薦する者 (4) 本学がこれまでに実施した高大連携に係るイベント「大学丸ごと研究室体験」又は「名古屋市立大学高大連携授業」（システム自然科学研究科に所属する教員が担当するものに限る。）に参加した実績がある者 (5) 平成31年度大学入試センター試験において、以下の5教科7科目を受験する者 教科（科目） 国語（国語）、数学（数Ⅰ・数A及び数Ⅱ・数B、簿、情報から1科目選択 ※2）、理科（物理、化学、生物、地学から2科目選択）、地理歴史・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫政経から1科目選択 ※3 ※4）、外国語（英語 ※5） (6) 合格した場合、必ず入学することを確約する者</p>

<p>③ CAP制</p> <p>1学期に履修可能な単位数の上限は合計で24単位である。</p> <p>④ 部屋の用途（4号館1階）</p> <p>保健室</p>	<p>※1 名古屋市立高等学校・理数科の中から指定し、当該高校へ別途通知する。また、推薦は1つの高等学校につき、1名を限度とする。</p> <p>※2 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。</p> <p>※3 2科目を受験した場合は、第1回答科目を合否判定に用いる。</p> <p>※4 倫政経とは、「倫理、政治・経済」を指す。</p> <p>※5 英語はリスニングを含む。リスニングの配点比率は20%とする。</p> <p>その他： 他の国公立大学及び本学他学部の推薦入試に出願する者は、本推薦入試に出願できない。</p> <p>③ 個々人の能力に促した履修を可能とするため、制限を緩和したので、以下のように変更する。</p> <p>1学期に履修可能な単位数の上限は合計で24単位である。<b>ただし直前の学期のGPAにより、履修登録できる上限単位数が半期あたり最大4単位加算される。</b></p> <p>④ 部屋の用途を変えたため、以下のように変更する。</p> <p><b>測定機器室（学部専用スペースの拡大と保健管理センターへの機能強化のため（保健室は保健管理センターとして2号館に移転））</b></p>
---	---

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、各部局における部局単位のFD活動を実施するだけでなく、大学全体の教育の質の向上に資することを目的とする「全学教育機構」、全学的な教育改革の推進を目的とする「高等教育院」を設置している。また、SD研修等の検討及び実施については、事務局総務課が中心となって行っているほか、教育研究支援に資する研修等を各所管課と連携して実施している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成30年度は、全学教育機構会議を5回開催した。委員会には、全ての研究科から教員が参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD実施計画について</p> <p>教育改革フォーラムについて</p> <p>「授業についてのアンケート」について</p> <p>研究授業の実施について</p> <p>大学満足度調査結果について</p> <p>FD・SD講演会について 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生を対象とした大学満足度調査</li> <li>・ 研究授業（教員相互の授業参観）</li> <li>・ 新任教員研修</li> <li>・ FD講演会</li> <li>・ 教育改革フォーラム</li> <li>・ 教育研究支援に資する研修</li> </ul> <p>b 実施方法</p>
--

- ・ 学生を対象とした大学満足度調査

教育内容や教育環境に対する学生の意向を把握するため、平成19年より毎年度大学満足度調査を実施し、結果を本学ウェブサイト（学内限定ページ）で公表している。

- ・ 研究授業（教員相互の授業参観）

学生に対する授業評価アンケートの総合評価等を踏まえて実施科目を選出し、参観教員からアンケートをとり、授業担当教員にフィードバックしている。

- ・ 新任教員研修

新任教員を対象に、毎年4月に実施している。実施後は速やかに本学HPへ研修の様様や成果を掲載している。

- ・ FD講演会

全学対象の講演会・講習会を各年1回程度開催し、各学部・研究科の教員が参加している。開催後、速やかに本学HPへ講演会・講習会の様様や成果を掲載するとともに、参加者からアンケートをとり、その結果を分析し次回の改善に充てている。

- ・ 教育改革フォーラム

学術的なFD推進活動の一環として、教育改革に関するフォーラムを開催している。各回でテーマを設定し、教員・職員を交えた講演、グループ討論、パネルディスカッション等を実施している。

- ・ 教育研究支援に資する研修

大学等の管理運営及び教育研究支援に必要な知識等を身につけ、能力及び資質の向上を図るための研修、教職員として求められるマネジメント能力、コミュニケーション能力、事務処理能力等の向上を図るための研修などに体系的に取り組んでいる。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 学生を対象とした大学満足度調査

原則として、新2年生以上は年度当初の学部別ガイダンス時、前年度卒業生は卒業式当日に実施している。

- ・ 研究授業（教員相互の授業参観）

各学部、研究科の専門科目において研究授業を実施した。

- ・ 新任教員研修

平成30年度は4月26日に開催し、各学部・研究科から30名が参加した。

- ・ FD講演会

平成30年度は平成31年2月1日に開催し、教職員77名が参加した。

- ・ 教育改革フォーラム

平成30年度は11月9日（参加教職員51名）、12月14日（参加教職員54名）の計2回開催した。

- ・ 教育研究支援に資する研修

平成30年度の開催実績は以下のとおり。

- ・ 新規採用者研修（4月4日開催）／教職員292名参加 ※大学の管理運営に必要な知識に関する研修
- ・ 教員倫理研修会（6月28日開催）／教職員60名参加
- ・ 研究不正防止等研修会（6月28日開催）／教職員（大学院生含む）162名参加
- ・ 公的研究費不正使用防止研修会（6月28日開催）／教職員（大学院生含む）73名参加
- ・ コンプライアンス研修（10月3日開催）／職員42名参加
- ・ ハラスメント研修会（3月5日開催）／教職員73名参加
- ・ ワーク・ライフ・バランス講演会（1月30日開催）／教職員77名参加
- ・ 男女共同参画セミナー（11月15日）／教職員（学生含む）97名参加
- ・ 男女共同参画推進センター主催学生・教員交流会（11月22日）／教職員（学生含む）54名参加
- ・ 事務職員新規採用者研修（文書事務、教務事務、電子情報の取り扱いなど）（4月13日開催）／職員46名参加
- ・ 近隣大学との合同研修（人権・倫理・ハラスメント、コミュニケーション、ワークライフバランス等）（9月10日・25日開催）／職員14名参加
- ・ 事務職員階層別研修（OJT・業務改善）（12月7日・14日開催）  
／職員26名参加 ※一部近隣大学と合同開催

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学満足度調査結果及び授業評価アンケート結果は、各部署のFD委員により構成されるFD専門委員会や全学会議において報告している。さらに、各部署のFD委員会やワークショップ等でも独自に結果分析を行い、授業手法の改善等に活用している。

また、講演会等の様様・成果は本学HPや学内広報誌等に掲載している。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

各学期末に実施している

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果は各教員に通知するとともに、結果に対するコメントや次期授業に向けた改善案の提出を教員に対して義務づけている。アンケート結果については、教員からのフィードバックコメントとあわせて、本学ウェブサイト（学内限定ページ）で公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>本学部は、愛知県を含めた東海三県における理学部設置率が際立って低い課題を解決し、基礎科学をベースとした人材育成を推進するため設置された。自然科学と数理情報科学の知識を活かしイノベーション創出に貢献できる人材、グローバル視野を持ち名古屋市を中心とした地域の持続的発展を担う人材、そして理系の教育を担う人材を育成することを教育研究上の目的としている。生命科学を中心として理学の基礎を総合的に理解した上で各自の専門分野の教育研究を行い、既存の学問領域の枠を超えて柔軟な思考のできる人材を輩出するためのカリキュラムを実践している。</p> <p>平成31年度入試を分析すると、愛知県内に居住する受験者の割合は30年度の75%から70%に低下し、通学圏内と考えられる岐阜県・三重県の居住者を加えた比率も83%から80%に微減したが、全国に知名度を徐々に上げつつ東海地区の少ない理学の進学先として十分に目的を果たしていると考えられる。志願倍率は4.1倍から5.2倍に上昇し、設置申請に当たり実施した高校生対象のアンケート結果、つまり愛知県を含んだ中部地域において理学部の需要が存在することを改めて示した。後期日程による入試は、43名の入学者のうち理学部併願が42%と最も多く、設置目的が達成できていると評価する。</p> <p>平成31年度は、教養教育課程で選択できる科目数を増やし他学部並みにしたことが大きな特徴となっている。これにより、理系の知識に偏らずより広い教養を持った人材の育成に寄与できると期待している。開設して1年1か月が経過した段階であるが、教育研究上の目的を堅持し、設置計画に沿った教育を実践し、本学部及び本学に課せられた社会的使命・責任を果たして参りたい。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・平成28年3月 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページ上に公表している</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成28年度大学評価（認証評価）を受け、平成29年3月に、認証評価機関より、【評価の結果、貴大学は大学基準に適合していると認定する。】と評価された。次回は令和4年度に受ける予定である。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）</p> <p>a ホームページへの公表予定の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年 5月 31日 )</p> <p>b 公表無の場合の特段の理由 ( )</p>
--

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。